

編集後記

2020年は、日本乳業技術協会が財団法人として認可を受けて活動を始めた1950年から数えて70年目にあたり、本誌第70巻は「協会創立70周年記念号」として発刊することとなりました。この記念号の内容について編集委員会で検討し、また協会代表理事とも相談して、2000年に第50巻を「50周年記念号」として発刊してからの乳業技術の20年間を振り返り、さらに今後10年、20年先を展望するような内容で、ご執筆をお願いすることにいたしました。生源寺眞一先生には、前回の記念号においてもわが国の乳業の21世紀の課題についてご執筆いただきましたが、今回はこれを時空間的に広げ、長期的さらに国際的な視点から俯瞰的にご論考いただきました。齋藤忠夫先生には、乳に関連する学界を代表して、乳の研究についてこの20年を振り返り今後の方向や学としての姿を展望していただきました。また、業界を代表して、乳業4社の研究開発部門の皆様には、この20年での乳業技術の進歩と乳・乳製品の機能開発の新展開についての各社の取組と成果についておまとめいただきました。さらに協会の職員にも寄稿をお願いしました。本誌は協会の機関誌として編集、刊行していることを踏まえて5年ほど前から「乳技協だより」として協会での乳・乳製品の試験検査や乳業技術の指導・普及などの

取組についても連載しております。これらの連載の一環として4つの課題、取組について、少し掘り下げて、あるいは総括的に紹介してもらいました。この記念号が70年の節目に発刊された小冊子として読者の皆様のお役に立ち、ご活用いただけましたら幸いに思います。

今年は少し様子が違う夏休み、お盆の季節を過ぎました。ワクチン摂取が進み、収束に向けた期待感とともに延期されていたオリンピックが開催されて少し明るいムードになったところで感染拡大第5波が始まりました。社会、経済の活動と対感染症公衆衛生を両立させることの難しさを改めて認識させられました。新型コロナウイルスのパンデミックは、協会の活動にも少なからず影響を及ぼしています。早く収束して正常な生活と社会活動に戻っていくことを祈るばかりです。コロナ禍への対応という平常時以上のご苦勞があり、ご多忙な状況の中で、ご執筆お引き受けいただいた皆様に深く感謝し、編集委員一同、改めてお礼を申し上げます。

松田 幹

乳業技術編集委員長
福島大学食農学類教授

ISSN 1341-7878

BULLETIN OF JAPAN DAIRY
TECHNICAL ASSOCIATION

乳業技術 Vol. 70 2020

令和3年12月15日発行

編集兼発行者：公益財団法人日本乳業技術協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1丁目14番19号

TEL 03-3264-1921 FAX 03-3264-1569

E-mail : info@jdta.or.jp http : //www.jdta.or.jp

印刷者：小宮山印刷工業株式会社